

## ○ 有松まちづくりの会 役員会 (4月25日)

### ①「町並み研修旅行」開催 (4月21日、事業部)

今年の研修旅行は美濃赤坂宿と近江八幡で行われました。

美濃赤坂宿は、中山道56番目の宿場で、赤坂ボランティアガイド2名の方の案内で散策しました。江戸時代当初、家康が京都に上洛のため宿泊施設として造られたお茶屋屋敷跡や桑名への水運用の赤坂湊跡を見学しました。

近江八幡は、豊臣秀次が開いた城下町で、安土城下から住民を移し、楽市楽座を導入しましたが、10年で廃城となり、江戸時代に近江商人の町として発展しました。

平成3年重伝建選定を受けた町並みについて、藤木良明先生と市職員から現状のお話を聞き、活発な質疑応答を行った後、地元ボランティアの「てんびんガイド」3名の案内で、まちづくり活動のきっかけとなったお堀や旧西川家などを見学しました。



美濃赤坂宿の研修風景

### ②有松まちづくりの会 総会および講演会の開催予告 (5月11日)

総会は、5月11日(水)午後13時30分から絞会館で開催されます。

引き続き、元名古屋市有松町並み協議会専門委員を務められた畔柳武司氏の「有松らしいイメージの創出」と題した講演が行われます。畔柳氏は、15年程度前に「21有松まちづくりビジョン」の策定にご尽力いただいた方ですので、有松に対し有益なアドバイスがいただけると期待されます。

皆様のご出席をお勧めいたします。

## ○ 重伝建推進委員会 (4月25日)

### ①「有松町並み相談会」発足 (4月18日)

有松東海道沿いの地区が名古屋市の伝建保存地区に指定されたのを受け、有松の歴史的町並み及び良好な住環境の維持・向上を図るため、建築行為等に関する事前協議を行う住民主体の「有松町並み相談会」が発足しました。

相談会の構成は、会長に小澤武夫区政協力委員長、副会長に東町の服部美和町内会長、委員に西町から木全幸吉町内会長と山本好男さん、中町から神谷武史町内会長と久野剛資さん、東町から加藤達芳さん、商工会から長塚啓さん、絞組合から中濱豊さん、まちづくりの会から阿知葉征彦さん(事務局長)と山田修生さんが選任されました。アドバイザーとして、大学の先生2名、建築等の専門家2名が選任され、オブザーバーとして歴まち室担当者の5名が承認されました。引き続き、届け出のあった案件の事前相談が行われました。なお、この相談会は継続的に毎月第3月曜日に開催されます。

この町並み相談会を通じて、有松町並み保存地区内の歴史的町並みや景観および住環境が良好になっていくことが大いに期待されます。

## ○ 有松桶狭間観光振興協議会 (4月26日)

### ① 第8回 地藏池・大池桜まつり開催 (4月2日)

今年の桜は、開花宣言後気温の低い日が続き、満開時期が通年より遅くなり、桜まつり当日が満開となりました。また、晴天に恵まれ、よいお花見日和となりました。

有松・桶狭間・南陵の各学区区政協力委員会のご協力で開かれ、大勢の方が、スタンプラリー・輪投げ・紙芝居・駄菓子に興じて、楽しい桜まつりでした。



開催にご協力いただいた皆様

## ○ 桶狭間古戦場保存会総会開かれる (4月10日)

国会議員など公職者、行政関係者、関係団体長を迎えて第9回保存会総会が桶狭間公民館で開催されました。

冒頭会長挨拶で梶野泉氏は、『名古屋市に新たに組織された観光文化交流局が進める北の名古屋城、南の有松・桶狭間の観光魅力向上推進に積極的に参加し、また隣の豊明市と協力関係が結ばれたのを受け、桶狭間一体として観光を盛り上げ、2020年に10万人の来訪者を達成したい』と抱負を述べられました。



開会挨拶をする梶野泉会長

## ○ 名古屋環境大学 有松・桶狭間で講座を開く (4月6日)

「留学生と有松で再発見。着物のいいところ、まちのいいところ」と銘打って、4回に亘って開催される講座の第1回「古い町並みと着物」がゲストハウスMADOと有松町並みを会場に開かれました。

アメリカからの留学生とMADOのゲストさんなど10名が、着付け技能士の佐治紀子先生に、お気に入りの着物を着付けていただき、着物姿で有松を散策しました。町並み案内は有松あないびとの会が務めました。

散策後はMADOにて抹茶で一服しながら、日本文化を堪能し合い、また認識を深めました。

この講座は、今後桶狭間古戦場を訪ねたり、有松絞りの体験をしたり、留学生のホストファミリーの体験を聞いたりし、古いものの中から新しいものの発見を目指していきます。



町並み散策後の懇談風景

## ○ 朗読劇「捕虜のいた町」上演 (4月24日)

太平洋戦争中、有松裏に欧米軍人の捕虜収容所が設けられました。この収容所を中心に社会状況から戦争の時代を見つめ直す作品でした。天ちんさんと山田昌さんのプロ2人とアマチュア13人で演じられ、照明・音響の効果もあり、見ごたえのある朗読劇でした。

また、棚橋邸では、劇をより深く理解するため、その時代の写真・資料が展示されていました。



## ○ 神功皇后車の車輪が新調される（4月17日）

西町の神宮皇后車の車輪の痛みが激しく、この度新たに造られた車輪に取り替えられ、「車輪新調お清め式」が山車会館で行われました。文嶺講から本田総代長はじめ役員、西町から山車関係者が神功皇后車の前に集まり、成海神社の亀垣宮司のもと式典が執り行われ、新調なった4輪に切麻（きりぬさ）によりお祓いとお清めが行われ、山車の安全運行が祈願されました。

新車輪は、旧来の1本の木からくりぬいた車輪でなく、現代の寄木技術で作られたものに鉄の箍（たが）を嵌めて造られています。直径は10cm大きくなっています。



車輪新調お清め式

## ○ 2016年ミス絞り 発表（4月23日）

1月から募集を始め、応募があった62名の中で一次審査に合格した15名を本選考（面接審査）し、晴れて2名が選ばれ、発表されました。今年の「ミス絞り」は、小栗まどかさんと山本有沙（ありさ）さんで名古屋在住の学生さんです。応募の動機は絞りを着たいとの思いなどで、今後は絞りの着物を着て、絞りの良さをアピールしていきたいと話していました。

また、有松福男は地元銀行員である山田光恭（こうすけ）さんと鈴木誠也（せいや）さんが務めます。お二人とも勤務地である有松をもっとよく知り、地場産業である着ごちの良い絞りを積極的にPRしたいと話していました。



28年度ミス絞りと有松福男

## ○ あないびと新たに7人誕生（4月13日）

新たにあないびとになろうと、教本を読んだり、先輩あないびとの後ろについて案内を勉強したり、疑問に思ったことを自分で調べたりして研鑽してきた総仕上げとして、新人あないびとへの成田会長直々の研修が行われました。

成田会長からは、町のなかを歩きながらその場の情報を提供され、『お客様を案内することのみならず、いろいろなことをしていただきます。それがためにいろいろ経験し、疑問に思ったことなどは積極的に自分で調べ、皆の前で発表してほしい。自学自習で実力を付け、おもてなしの心を持って、あないびとを務めてほしい』と激励され、全員研修を卒業しました。

近々有松は重伝建保存地区に選定され、訪問客が増加すると想定されますが、有松あないびとの会の増員が出来たことにより、十分対応力が向上しました。



成田会長直々の研修風景

## ○ 藍染川（手越川）大掃除

雨季を控え、藍染川（手越川）の東は1号線から、西の302号までの清掃を緑土木事務所が行いました。

川の中に生えている樹木・雑草の伐採、投棄された自転車や傘などの回収、川沿いに生えている草木の刈取りが行われました。これにより川がきれいになるとともに川の流れもよくなりました。

また、この清掃は、伊勢志摩サミットを控え、有松駅周辺の安全性を高めるため、不審物を隠せる雑木・雑草を除去する目的も持っていました。



藍染川（手越川）の清掃作業

## ○ 居酒屋「あつし」開店

居酒屋「みきや」が3月末に閉店し、同位置に新たに居酒屋「あつし」が4月27日に開店しました。

店主の古賀篤史さんは、数年の居酒屋修行を経て、前店舗の「みきや」の紹介でここに店を開きました。居酒屋として、肴は新鮮な海鮮を、お酒は大高の「九平次」や佐屋町の「義侠」などを取り揃え、お客様をお待ちしていますと語っていました。

営業日：当面全日

営業時間：17：00～24：00

電話番号：623-9031

住所：緑区有松1021（有松駅西、手越川沿い）



居酒屋「あつし」

## ○ 催事・行事の予定

- ・5月01日（日） 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- ・5月11日（水） 13:30 有松まちづくりの会 総会・講演会 校会館
- "          13:00 「留学生と有松で再発見」②「桶狭間を見つめる集い」 古戦場保存会
- ・5月15日（日） 10:00 桶狭間古戦場まつり 桶狭間古戦場および周辺
- "          09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- ・5月21日（土） 13:30 日弁連と有松まちづくりの会との意見交換会 竹田邸
- ・5月22日（日） 07:30 かえで道の清掃 有松まちづくりの会
- ・5月23日（月） 18:00 重伝建推進委員会 コミセン 歴史まちづくり推進室・有松まちづくりの会
- "          19:00 有松まちづくりの会役員会
- ・5月24日（火） 18:00 有松桶狭間観光振興協議会役員会 校会館
- ・5月25日（水） 13:00 「留学生と有松で再発見」③「伝統工芸を体験」 有松工芸

発行者：竹田嘉兵衛（有松まちづくりの会 副会長）

編集者：加藤 一成（有松まちづくりの会 広報部員）

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索